

# 子どもと女性の健康相談室

16



福島医大ふくしま子ども・女性医療支援センター長  
水沼 英樹氏

約一カ月の間隔で自発的に起こり、限られた日数で自然に止まる子宮からの出血を月経と呼びます。月経は正常ではおおむね二十五〜二十八日周期で出血し、三〜七日で止血します。これまで規則的であった月経が三カ月以上停止した状態を続発無月経と言います。十八歳になっても初経をみない原発無月経とは区別して捉えています。なお、妊娠や閉経も続発無月経ですが、これらは生理的であり病的意義はありません。今回は続発無月経についてお話しします。

Hは血流に乗って腹腔視床下部や下垂体、さらには卵巣に何らかの異常がある場合には子宮内膜の肥厚に必要なホルモンの分泌が起これば月経は起これなくなります。な

H分泌低下には精神的・身体的ストレスの存在が深く関わっています。戦時中には空襲によるストレスの影響で無月経となる女性、いわゆる戦時無月経に罹患(りかん)する女性が少なくありませんでした。これに対し現代社会では、進学や就職に伴う環境変化や過激な目的で始めたダイエットは視床下部性無月経の大きな要因となっており、特に若年女性が美容に陥るばかりでなく、不足に陥るばかりでなく、カルシウムやタンパク質など体をつくる栄養不足も問題となりますので、このような女性では、新たな異常の出現や、治療に抵抗性を持つなどの問題も発生してきます。

## ストレス大きくな要因

一定のリズムをもって放出されることが必要です。このGnRHはすぐ下方に位置する下垂体からFSH、LHと名付けられたホルモンの産生と分泌を促し、LHとFSH

子宮はこの女性ホルモンに反応して内膜を肥厚させて行きますが、妊娠が成立しないと剥脱し月経血として子宮外に排出されます。したがって、

お、子宮内膜にできた傷や炎症で子宮内膜が癒着して続発無月経となる場合もあります。この場合にもありますが、この場合にはホルモン分泌は正常です。

運動・無理なダイエットなどによるストレスが問題視されています。ある報告によれば、五割以上あるいは10%以上の体重減少があると無月経になると言われてお

続発無月経には、これらの他に多嚢胞性卵巣症候群、乳漏性無月経、内科的内分泌異常に続発する無月経などがあります。が、これらについては次回お話しします。いずれにせよ、無月経は放置しないことが大切です。|| 次回は8月21日掲載 ||

### 無月経

①

一定のリズムをもって放出されることが必要です。このGnRHはすぐ下方に位置する下垂体からFSH、LHと名付けられたホルモンの産生と分泌を促し、LHとFSH